

第 644 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

テレビ番組

「フィレンツェに吹く風～それはミケランジェロの丘から始まった～」
(放送日時：2018年12月15日(土)午後2時00分～2時54分)



平成 31 年 1 月 22 日

BSN新潟放送

第644回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成31年1月22日(火) 午前11:00～

2. 開催場所 新潟市中央区 新潟放送 6F

3. 委員の出席

○委員側出席者 (敬称略・順不同)

委員	古賀 豊	委員	池田 幸博
委員	石坂 智恵美	委員	小島 良子
委員	服部 誠司	委員	三井田 由香
委員	渡邊 信子		

○委員側欠席者 (敬称略・順不同)

委員	佐藤 元	委員	小原 清文
委員	高木 言芳		

○放送事業者側出席者

社長	佐藤 隆夫	常務取締役	島田 好久
放送本部長	小原 弘志	営業本部長	金田 博幸
編成局長	増山 由美子	情報センター長	丹羽 崇
<説明員>	テレビ制作部長	井上 智美	
事務局	阿部 基行 (放送本部 テレビ編成部長)		

4. 議題

1 新委員のご紹介

番組審議委員長ならびに副委員長選出

2 報告事項 平成31年2月と3月の単発番組について (各局長)

2 審議事項 テレビ番組「フィレンツェに吹く風
～それはミケランジェロの丘から始まった～」
(放送日時: 2018年12月15日(土)午後2時00分～2時54分)

5. 議事の概要

審議会のはじめに、佐藤社長より昨年12月で退任された細田康委員の代わりに就任した三井田由香(みいだゆか)新委員の紹介のあと、委員による推薦で今年度の委員長に古賀豊氏、副委員長に佐藤元氏が再任された。各局長からの2019年2月3月度の番組報告に続いて、テレビ番組「フィレンツェに吹く風～それはミケランジェロの丘から始まった～」(2018年12月15日放送)について審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

- 雪梁舎美術館を訪問した事はあるが、この番組を視聴して20年に渡り若手芸術家育成の活動をしていた事を知り、とても勉強になった。
- 現地の風の会のグループ展について素晴らしいコメントはあったが、実際に現地でのような評価を受けているのか知りたかった。
- 県内に企業のメセナ活動を広める番組で良かった。これからも県内の文化活動などを広めて欲しい。
- 活動を丁寧に取材していて、見応えのある番組だった。
- 1回目に視聴した時は何を伝えたいのか分からなかったなので、もう一度視聴した。2回目に視聴して、ようやく点と点がつながり後から伝わってきた。
- 受賞者からの目線で伝えていた部分は良かった。実際に留学して、自分の眼や耳で感じたものを聞くことが出来て良かった。もっと受賞者の声を聞きたかった。
- このような活動が広まれば、芸術家の幅が広がると思った。
- フィレンツェの街並みやたくさんの美術品が画面に展開して、贅沢な気分になった。
- 雪梁舎美術館の芸術家を育てる素晴らしい取り組みを知ることが出来て良かった。
- 5～6人の留学経験者が露出していたが、1人か2人でも良いので日常の創作活動を交えながら深く掘り下げた方が良かったのでは？芸術家の成り立ちなども見せて欲しいかった。
- 留学者の心と体を支えたフィレンツェのレストランのオーナーが日本人で、レストランの店内に展示してあった留学生の作品が地元フィレンツェで評価されている事が分かって良かった。
- フィレンツェに留学した人たちの作品をもっと見たかった。留学して何が変わったのかをもっと掘り下げて欲しいかった。

～新潟放送 テレビ制作部 井上智美プロデューサーから～

貴重なご意見を頂き、ありがとうございます。

今年度のフィレンツェ賞展のトップ3の3作品の作者は、まだ留学していない3人で未来につながることを意識して取り上げました。そうした事が伝わらなかったのは、反省すべき点です。また1回目の視聴でも伝わるよう努力していきたいと思います。

風の会の現地での評価ですが、良いところばかり使っているというより、良い事しか言わないのが実情でした。フリーの客の声も多く聞きましたが、イタリアそのものが芸術に理解があり良いも悪いも含めて受け入れる土地柄だと感じました。

留学経験者の掘り下げをもう少ししたいと思いましたが、誰をどのように掘り下げるかで悩みました。

ご指摘を参考に、今後の番組作りに役立てていきたいと思っています。

本日はありがとうございました。